

より快適できれいな暮らしに貢献したい

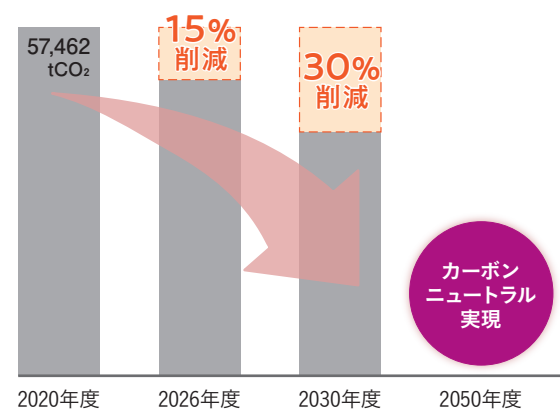
だからタカラは環境問題に取り組みます

経営企画室
リーダー
武知 大介

タカラストANDARDは、持続可能な社会の実現に貢献するため、環境問題を経営上の重要課題として位置づけ、事業活動における環境負荷を低減するとともに、環境保全および環境汚染の予防に取り組みます。

環境方針

- ◎環境負荷に配慮した製品、サービスを開発します。
- ◎あらゆる事業活動において、環境負荷軽減に取り組みます。
- ◎環境保全に関する法令を遵守することに加え、社会的に要請される環境課題へ取り組むことに努めます。

CO₂削減目標2026年度 CO₂排出量削減目標2020年度比 **15%削減**2030年度 CO₂排出量削減目標2020年度比 **30%削減**CO₂排出量削減目標(対2020年度比)*

※削減目標対象範囲: Scope1+Scope2

事業活動におけるCO₂排出量削減に向けた取り組み

生産拠点における省エネ設備の導入、燃料転換

ホーロー製品の生産工場では、製造工程で使用する焼成炉でエネルギーを多く消費します。当社では、高断熱材の使用や焼成炉から出る排熱を再利用するなどエネルギーの消費を抑制する取り組みを推進しています。また、焼成炉で使用するガスバーナーを省エネ型ガスバーナーへ順次更新を進めており、燃焼効率を向上させ、ガス使用量及びCO₂排出量低減に努めています。



樹脂製品の生産工場である関東工場では、樹脂製品の製造工程で使用する設備の熱源について、電気ボイラーからガスボイラーへの切り替えを推進しています。これにより消費エネルギー量を削減すると共にCO₂排出量低減に貢献しています。



各事務所における省エネ設備等の導入



当社の営業所・工場・物流センターなどの各拠点では、照明のLED化や高効率な空調設備の導入を進めています。

TCFDに基づく情報開示

ガバナンス／リスク管理

気候変動を中心とした環境問題に関するリスク・機会の把握・分析、課題や対策の検討は、代表取締役社長が委員長を務めるサステナビリティ委員会の下部組織である「環境分科会」が担っています。当分科会は経営企画室長が分科会長を務め、年4回以上開催し、TCFD提言への対応および戦略と指標の進捗、経営計画との整合を審議し、その結果をサステナビリティ委員会へ年2回以上答申します。またサステナビリティ委員会を通じて、取締役会へ答申・報告します。当分科会の事務局である経営企画室は、分科会の運営のほか、各部門と連携しTCFD提言への対応推進・進捗管理を行います。また、シナリオ分析を通じた気候変動のリスクと機会の把握及び対応策の検討を行い、環境分科会へ提案・報告します。

戦略

■移行リスク(1.5℃未満シナリオ)

分類	シナリオ	リスク	影響度	機会	影響度
政策や法規制	炭素税課税の導入	資材やエネルギーの調達コストが増加し、製造コスト、販管費が増加	大	—	—
	森林環境規制等の強化	木質資材の調達難度、調達コストが増加し、製造コストが増加	大	—	—
市場と技術	石油化学、鉄鋼業界における脱炭素に向けたダイベストメントや事業ポートフォリオの見直しが進展	鋼材や樹脂資材、木質資材の調達難度、調達コストが増加し、製造コストが増加	大	—	—
	得意先・消費者の行動変化 節水・省エネ性・継続使用性の高い商品の選好	—	—	お手入れが容易で、長く使い続けられるホーロー製品等の存在感が高まる	中
	得意先の行動変化 製造工程におけるGHG排出量の多い製品の需要が減少するリスクがある	製造工程におけるGHG排出量の多い製品の需要が減少するリスクがある	中	木材製品の需要が増加	中

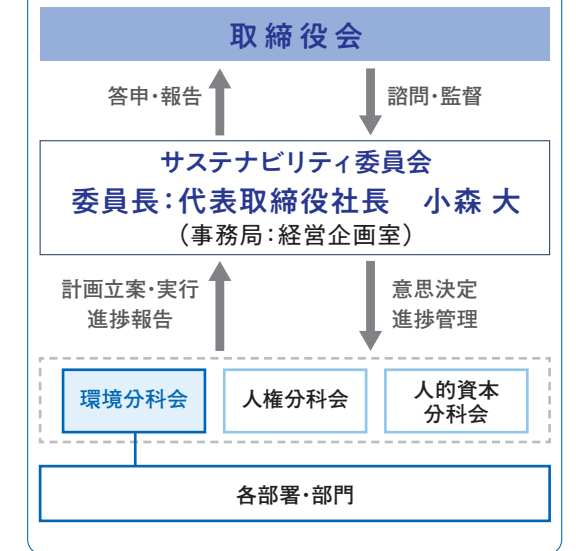
■物理リスク(4℃シナリオ)

分類	シナリオ	リスク	影響度	機会	影響度
慢性的	気温上昇で熱中症リスクが上昇	作業環境は、直射日光下ではないが、一定程度の影響は受ける	中	—	—
急性的	異常気象の激甚化・頻度が増加	被災による操業停止災害によるサプライチェーン寸断	小	災害リスクの高まりによって、強靱な供給体制のある存在感が高まる(2011年の震災時にも継続供給を実現)	大

■環境問題に関して取り組んでいる主な事項

目的	対応策
GHG排出量の削減	太陽光パネルの設置、モーダルシフトの推進(エコシップ、鉄道利用を促進)
気象災害に対するレジリエンスの強化	製造、物流拠点の分散化や在庫の確保といったBCPへの継続的な取り組みの推進
梱包資材の省資源化	梱包を必要最低限に切り替えることで、省資源、ごみの削減、輸送・開梱作業の効率化を推進

ガバナンス体制図



その他の取り組み

太陽光発電でよりクリーンなエネルギー利用を

全国の支社・支店・工場・物流センター、全14カ所の社屋に太陽光発電設備を設置し、環境および省エネルギーに配慮しています。

【設置社屋】

本社 大阪支社 横浜支店 埼玉支店
千葉支店 宇都宮支店 京都支店
神戸支店 広島支店 四国支店
大阪工場 和歌山工場
東北物流センター 福岡物流センター



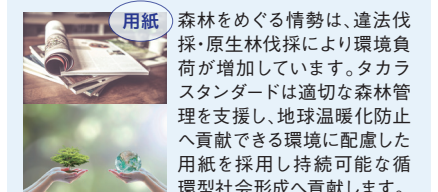
植物由来素材でリサイクル可能なタカラの制服

着用する制服のジャケット、パンツ、スカート、九分袖トップス裏地には、植物由来ポリエステル、ブラウス生地緯糸には再生ポリエステルを使用するなど環境に配慮した素材を使用しています。また不要になった制服は、回収され、再度制服に加工などを行い、二次製品に変えて再利用することができます。



カタログでも地球環境保護を徹底

お客さまにお渡しするカタログでも「環境に配慮した用紙」「植物油インキ」を採用し地球環境保護に貢献します。



カタログなどに使用されるインキを「植物油インキ」などの再生産可能なインキに変更しています。石油系溶剤に比べてVOCの排出が少なく、環境負荷低減に貢献します。